

福井大学学術交換協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（4月分）

留学先大学：ナポリ東洋大学
(Università degli Studi di Napoli "L'Orientale")

皆さんこんにちは。2回目の月例報告書となりました。この一ヶ月はとても早かった気がします。ようやく生活にも慣れてきたという実感がわいた一ヶ月でもありました。今回は町の様子と授業について書きたいと思います。

[まちの様子]

イタリアのナポリはヨーロッパの中でも治安の悪さは有名で、まだスリの被害などにはあっていないのですが、現地の友達が、僕が家に無事に着いたかを確認してくれるのを体験すると本当に危ないんだなと痛感します。夜は大勢の若者が道でお酒を飲んだりしていて、日本では想像できないような風景がここにはあります。ナイフを持っている人もいるようなので、夜の一人歩きは極力避けた方がいいと思います。幸い、僕は日本人の友達と同じ家に住んでいるので夜どこかに行くときは一緒に行動するようにしています。アパート探しについては次の月例報告書で説明したいと思います。

昼間は学生が多いので危険が多いようには感じませんが、ここはナポリですので、毎回注意をしながら歩いています。ですが、まちには色々面白いものがあるのでつい目を奪われてしまいます。まずは、電動キックボードです。ナポリだけに限らず、ヨーロッパ各地にあるようです。ハンドルの部分にQRコードがついているので、それを読み込むのだと思います。多くの人が使っていて、頻繁に見かけます。使った後は指定された場所に戻すというのではなく、たくさんの電動キックボードが道の真ん中においてあります。しかし、何分で何円払わなければならないというのは地元の人も分かっていませんでした。



また、ナポリの人々はサッカー界のレジェンドであるマラドーナを神様の存在として扱っています。まちを歩くとあらゆるお店にマラドーナの絵や置物があります。サッカーが好きな人は毎日が楽しいかもしれません！



[授業]

ナポリ東洋大学の英語開講科目は非常に少ないです。想像より遥かに少ないです。さらにその数少ない英語の授業の多くは修士課程の授業です。つまり、レベルの高い英語の授業です。僕はそれをあまり調べずに来てしまったので苦労しました。日本にいる時点で、開講される授業を知ることができても、現地に来て、やっぱり開講されていないというケースもあります。なので、いくつか候補を持っておき、最悪英語の授業は受けることができないことを覚悟して、ナポリに来た方が良いでしょう。僕は一つは受講できるだろうと思っていたのでショックが大きかったです。今はイタリア語を覚えて、しゃべれる言語を増やそうという気持ちに切り替えています。

授業は一コマ二時間です。また、キャンパスは4つあります。授業によってキャンパスが違うので、注意してください。

	月	火	水	木	金	土
8:30~10:30						
10:30~12:30			日本語		古典	
12:30~14:30						
14:30~17:30 (イタリア語のみ)				イタリア語 (古典)	イタリア語	イタリア語
16:30~18:30						

ゴールデンウィークが無い代わりに、4月の半ばにイースター休みが一週間弱あります。僕はこの休みを使って、フランスに行きました。授業期間も短いため、テストが終わったら、ヨーロッパ旅行にいけたらいいなと思っています。留学もそろそろ折返し地点に来ています。残りの期間、後悔しないように楽しみたいと思います！！ciao!